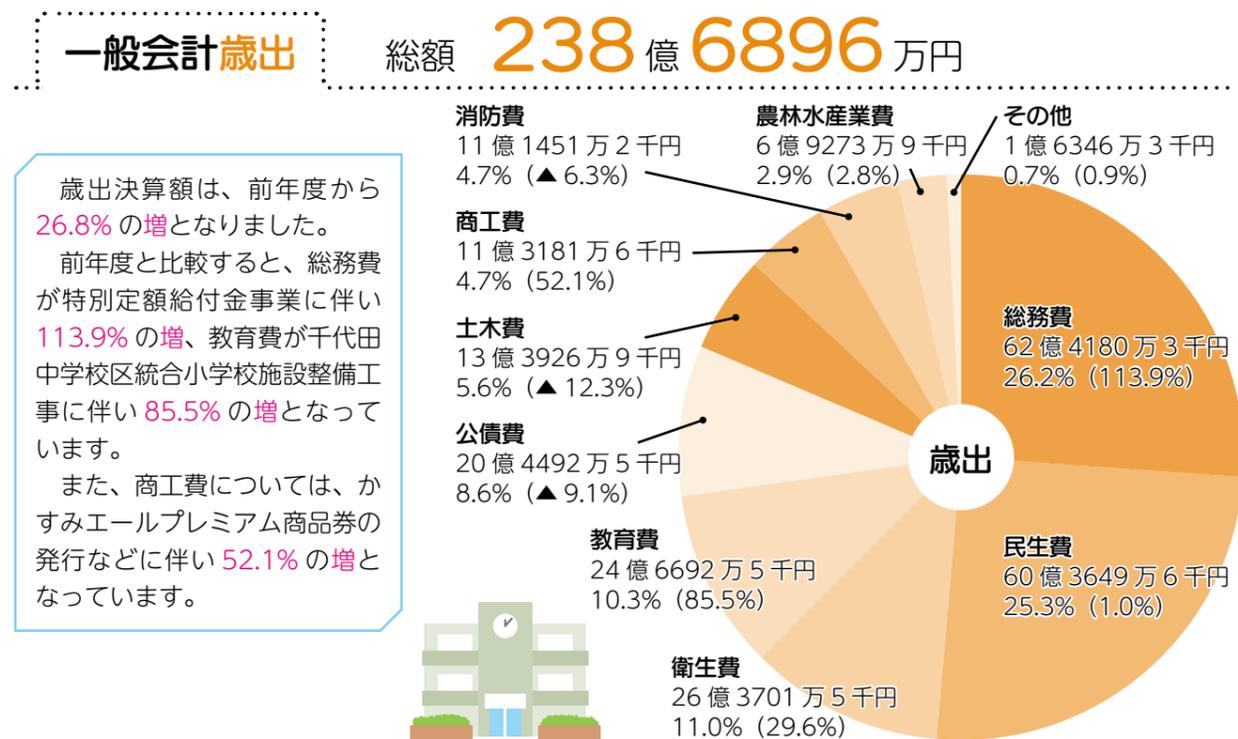
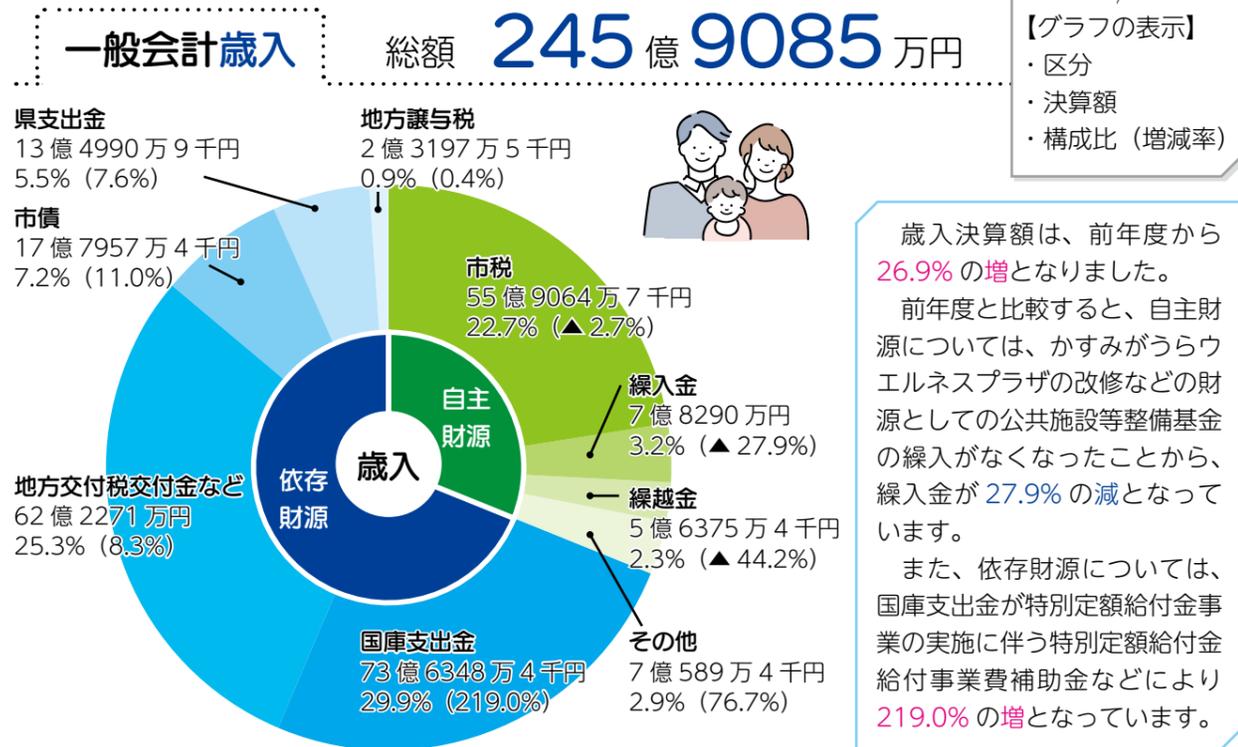


決算報告

図 政策経営課(千代田庁舎)

令和2年度決算が、令和3年かすみがうら市議会第3回定例会で認定されました。一般会計は、前年度決算に比べ、歳入総額が245億9,085万円で**26.9%の増**、歳出総額が238億6,896万円で**26.8%の増**となりました。歳入歳出差引額は、7億2,188万円となっています。

一般会計 歳入・歳出の状況



新型コロナウイルス感染症の感染防止対策事業

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や社会経済の安定を図るために行った事業の一部です。

- 特別定額給付金 4,130,800千円
- かすみエールプレミアム商品券交付金 502,117千円
- ハイブリッドタイプマスク・インナーマスク購入 92,873千円
- かすみがうら子育て応援給付金 58,530千円
- 小中学校臨時休業支援給付金 30,470千円
- 避難所で使用する消耗品・備品購入 20,040千円
- 新生児特別定額給付金 15,400千円



▲避難所用段ボールベッド

特別会計 歳入・歳出の状況

会計名	歳入(増減率)	歳出(増減率)	歳入歳出差引額
国民健康保険	40億6954万4千円 (▲7.6%)	40億789万9千円 (▲7.8%)	6164万5千円
後期高齢者医療	8億9064万3千円 (8.5%)	8億8369万3千円 (7.9%)	695万円
介護保険	34億8490万9千円 (2.2%)	34億5192万4千円 (2.3%)	3298万5千円

国民健康保険特別会計は、被保険者の減少に加え、コロナ禍による受診控えにより歳入・歳出ともに**減**となっています。後期高齢者医療特別会計は、被保険者の増加による医療費負担金の増加に関連し歳入・歳出ともに**増**となっています。介護保険特別会計は、被保険者数の増加による保険給付費の増加に関連し歳入・歳出ともに**増**となっています。

財政健全化の状況

財政健全化判断比率

(単位：%)

	本市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.16	20.0
連結実質赤字比率	-	18.16	30.0
実質公債費比率	9.3	25.0	35.0
将来負担比率	45.6	350.0	-

地方公共団体の実質的な赤字や公社・関係団体などを含めた実質的な将来負担に係る指標の健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を算出し、監査委員の審査を受けて議会に報告、公表することとされています。

各比率が早期健全化基準を上回った場合は、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力により財政健全化を図ることになります。財政再生基準を上回った場合は、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な財政再生を図ることになります。

資金不足比率

(単位：%)

	本市	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
下水道事業会計	-	20.0

水道事業会計、下水道事業会計における資金不足額の事業規模に対する比率を公表し、本市では、いずれの会計も資金不足比率は算出されませんでした。

※「-」表示は資金不足額なし